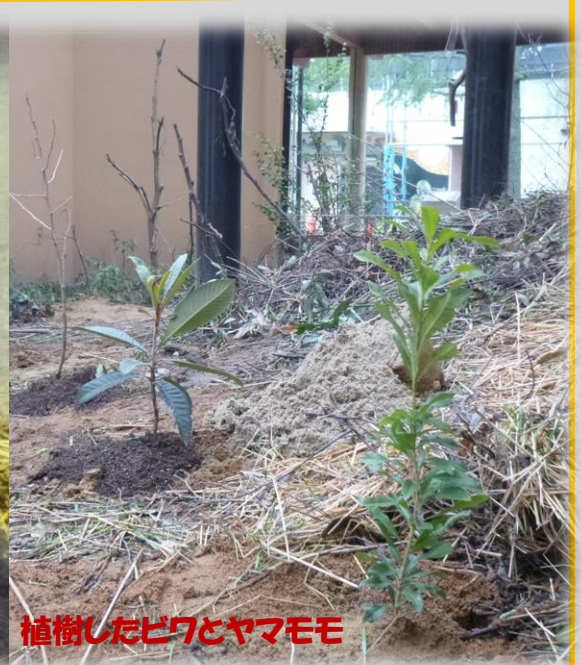


ゴリラ日記



お腹をさわるゲンタロウ



植樹したピロとヤマモモ

その十一 〇月△日 植樹

小雪のちかづく寒い一日でしたが、事前募集で当選されたお客様とゴリラのおうちにて植樹を行いました。モモタロウの大好物のピロやヤマモモなど十種類十九本の苗木を植えることができました。本来、森で生活しているゴリラにとって、木は大切なものです。その役割は、木の葉を食べたり、折って振り回したり遊び道具にしたり、夏の暑い日差しをさえぎり、人目を避けたいときには体を隠すことができると、その他にもまだまだ役割があるのです。以前に暮らしていた類人猿舎では、ゲンタロウが体を隠し、木登りができる木がありましたが、新しいゴリラのおうちではまだそのような木はありません。何年もかかるかもしれませんが、**ゴリラの住む森**と呼べるような環境作りを目指して植樹に取り組んでいきたいと思っています。これからもみなさんに、森作りのお手伝いをお願いしたいと思っています。

植樹の当日、ゲンタロウが風邪気味で少し体調を崩していました。体が小さく寒さがつたえていたようです。最近、寒さにつに体を丸めて手足を縮めていたのもっと気をつけてあげればよかったと反省しています。

またゲンキのお腹が大きいため、お腹に赤ちゃんがいるの？と質問されませんが、妊娠していません。そうそうゲンタロウの弟か妹ができたらいいなと思っていますが、授かりものですからあせらずに待っています。担当者より